

日本児童英語教育学会会員 各位

新型コロナ感染拡大に対する対応策について(2020年5月4日)

日本児童英語教育学会会長 小泉 仁

会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。この事態にあつてさまざまご苦勞をされていることと存じます。

日本児童英語教育学会の2020年度の運営に関しまして、現在、世界的に拡大している新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、以下の緊急対応を行うことを役員総会により決定致しました。本学会の特徴として、会員の多くが小学校教員等であり、日々児童と接する可能性のある方々であることや、大会には会員のみでなく非会員の参加が多いという点が挙げられます。いったん感染が広がった場合には、負の影響は大きいものになると考えられます。会員及び学習者を大切にすることを第一に考え慎重に判断致しました。

会合が開けないことは、とても残念です。今後、この状態がどのように収束に向かうのかを見極めつつ、会員の皆様に対する情報提供の方法等について検討を続けたいと考えます。

どうぞ、よろしくご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1.	40周年記念フォーラム及び座談会は、2021年度に延期します。
2.	7月末までの研究大会・セミナー等を中止または延期とします。8月以降の研究大会・セミナー等の実施については、本学会のウェブサイトをご覧ください。
3.	2020年度の全国大会は中止とします。
4.	2020年度の秋季研究大会は関東甲信越支部が新たに企画します。なお40周年記念フォーラムは2021年度に延期するため、秋季研究大会は1日開催となります。全国大会発表予定者が秋季研究大会の発表申し込みを行った場合、優先して発表を承認します
5.	総会はメール及び郵送により案内及び決議を行います。
6.	2020年度に予定されていた役員選挙については、選挙を1年間延期します。あわせて、会長・副会長・事務局長の任期を1年間延長します。
7.	研究紀要作成は、例年通り実施します。
8.	Newsletter作成は、例年通り実施します。しかし、発行時期、編集内容、発信方法は変更する可能性があります。
9.	大会・研究会の実施についてオンライン学会の実施の可能性を探り、実施できる大会・研究会等から取り入れます。
10.	2020年度の会費は例年通りとします。これは、研究紀要及びNewsletter作成を例年通り実施することに加えて、大会・研究会をオンラインによる実施を検討するためです。ただし、今年度の活動状況によって、2021年度以降の会費等の扱いについて検討します。

